

2011年8月8日  
 イオン北海道株式会社  
 マックスバリュ北海道株式会社

**レジ袋提供方法の見直し（無料配布中止）に伴う  
 2010年度レジ袋収益金の贈呈について**

イオン北海道株式会社とマックスバリュ北海道株式会社は、2008年から実施しておりますレジ袋の無料配布中止に伴う2010年度のレジ袋収益金（※）につきまして、下記のとおり活用させていただきますのでご案内いたします。

両社は、地域のみなさまのご理解、ご協力のもと、2008年6月より苫小牧市と倶知安町で食品レジ袋の無料配布中止の取り組みを開始し、現在イオン北海道株式会社31店舗、マックスバリュ北海道株式会社73店舗の、道内計104店舗で実施いたしております。毎月のマイバック持参率は84%以上の高水準で推移しており、お客さまのご協力による取り組みが、CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）排出削減と原料である石油の省資源化につながっています。

イオングループでは、レジ袋無料配布の中止に伴うレジ袋収益金のうち、その半額を店舗が所在する地方自治体や地域の市民団体などの組織に寄付し、環境保全活動や地域貢献活動などの取り組みに役立てていただくとともに、残り半額は、CO<sub>2</sub>排出権を購入し、政府（環境省）に無償譲渡（寄付）いたしております。

今年度も昨年度と同じく6月の環境月間から7月にかけて、2010年度分（2010年3月から2011年2月まで）のレジ袋収益金28,601,966円を贈呈させていただきました。

両社は今後とも買物袋持参運動を通じて、環境負荷の低減と企業の成長の両立を目指し、お客さまとともに環境保全活動と社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。

（※）レジ袋収益金はご提供価格から消費税と原価を差し引いた金額です。

記

1. 対象期間	2010年3月～2011年2月	
2. 贈呈金額	① 地方自治体や地域の市民団体など	
	イオン北海道株式会社	6,140,654円
	マックスバリュ北海道株式会社	8,160,329円
	② CO <sub>2</sub> 排出権を購入し政府に譲渡 両社上記と同額	14,300,983円
	合計	28,601,966円
3. 贈呈先	店舗所在地の各市町村、または各団体さま、環境省	

以上